

学力向上対策室より



5月12日、第1回幼小連携推進協議会を開催しました。

高知県教育委員会幼保支援課の野地真由美先生から「スタートカリキュラム」や「交流活動」について学びました。

こども園での「学びの芽生え」を小学校での学習に段差を少なくしてつなげるための「スタートカリキュラム」やお互いの教育を知る機会にもなる「幼小交流活動」についてご講話いただきました。そして教職員全体で学ぶことや保護者の理解を促す発信の必要性についてもご指導いただきました。



ご自由にご参観ください!

6月21日は、東津野中学校研究協議会があります。

主な日程は次の通りです。若干変更することがあることをご了承ください。

14:00	15:00	16:00	16:45		
参観授業	休憩 移動	提案授業	休憩 移動	ワークショップ (授業後の協議)	西留先生による講話

西留安雄先生の指導を仰ぎながら「学力向上」への取り組みを始めて4年目に入りました。授業改善については『問題解決型』の授業づくりについて具体的な手法を学び、各学校においては、今年津野町に赴任した教員への研修も実施しているところです。

授業改善の視点は、次の3点です。

①習得・活用・探求という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭においた深い学びの過程が実現できているかどうか。

⇒そのために、まずは「学習過程スタンダード」を身に付けることから始めました。学び方がわかることによって、より深く学ぶことができるようになります。

②他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める、対話的な学びの過程が実現できているかどうか。

⇒そのために、ペア学習、班学習、全体学習の場を設定し意見を聞きあう姿勢を身に付けるようにしました。聞いてもらえることがわかると自分の意見が言えるようになります。すると、傾聴できるようになり、自分の考えと他者の考えを比較し、思いやりのある批判ができるようになります。

③子どもたちが見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる、主体的な学びの過程が実現できるかどうか。

⇒そのためには、つけたい力を明らかにした上での課題設定の充実が必要不可欠です。課題解決に向かって主体的に学ぶための手法の一つが、子どもの司会進行による授業で、今、それに取り組んでいます。1時間の授業の最後は自分の学びを振り返り、次の時間の学びにつなげています。

津野町の小学校と中学校は、「学習過程スタンダード」の授業展開をそろえることで、学び方の継続や積み上げによる学力の向上に取り組んでいます。ぜひ、学校に足を運んで授業をご参観ください!!

